

31H 川田 龍太郎 32H 折橋 佐和 33H 小松 奈生
 35H 井坂 美月 36H 辻口 雄一郎

■課題

能登の良さを伝えることができていないから訪れる人が少ない

■解決策

空き家の再生プロジェクトを行う
 →能登の特徴を生かした支援制度をつくることで、移住希望者を呼び込む

■現状（課題の背景）

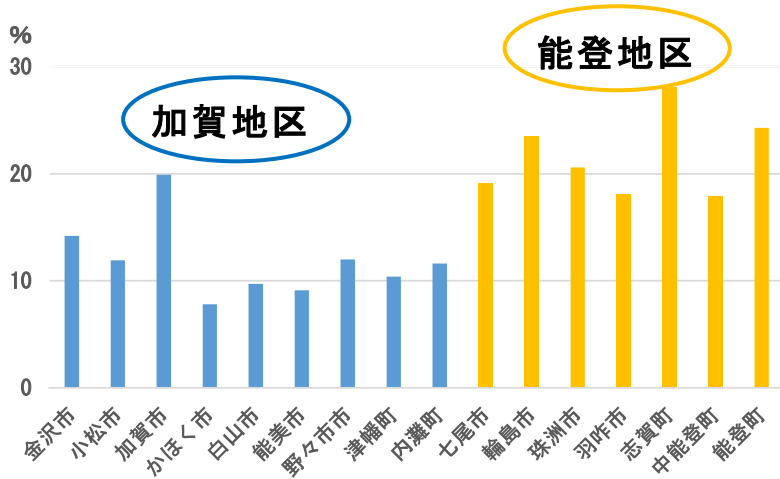


図1 地域別の空家率

図1から加賀地区に比べて、全体的に能登地区の空家率が高いことがわかる



空き家と自然をうまく利用したプロジェクトを行えば移住する人が増える

移住する人への支援の例

<七尾市の制度>

- ・定住する目的で市内に住宅を取得した人に最大で370万円
- ・民間賃貸住宅に入居した人に月額5千円以上（最大36か月）

<志賀町の制度>

- ・単身移住の人に基本奨励金40万円 + 町内建設業者加算50万円（合計最大90万円）
- ・家族移住の人に基本奨励金80万円 + 子ども20万円/人（2人まで） + 町内建設業者加算50万円（合計最大170万円）

田舎に移住したい人の特徴

- ・広くて安い土地に住みたい 23.6%
- ・自然に囲まれたところに住みたい 37.2%
- ・時給自足の生活・農業がしたい 15.7%

■具体的内容

<SNSなどで説明やPRをする>

- ・空き家についての情報
- ・移住先の地域の情報
- ・移住にかかる金額や生活にかかる金額 など

<助成金以外の支援をする>

- ・農業をしたい人に向けて田んぼや畑などを提供する
- ・空き家やその周辺の状態をできる範囲で良くする など

<空き家で田舎暮らしが体験できるイベントをつくる>

田舎で暮らすことを不安に思っている人に空き家を利用した宿泊施設などに泊まったり、農業をしたりして、田舎暮らしを体験してもらう

福島県南会津町での例

「南郷トマト」というブランド野菜を核とする



- ・地元の人が手厚くサポートを行う
- ・町の取り組みとして、ハウス用地や住所の確保をする



82世帯中10世帯が就農者となった

■参考文献

- <https://toukei.pref.ishikawa.lg.jp/dl/3648/H30juutakusetai.pdf>
- <https://www.city.nanao.lg.jp/nanaokurashi/myhome/josei.html>
- <https://iju-shika.jp/support/>
- https://www.iju-join.jp/feature_cont/file/068/
- <https://www.noukinavi.com/blog/?p=5507>